



7月13日

明治安田生命保険相互会社様から、話し手側の電話機に設置することで、「聴こえ」に悩むかたとのスムーズなコミュニケーションが可能となる、サウンドアーチ(電話音声明瞭器)をご寄贈いただきました。ありがとうございます。



7月19日

自衛官募集相談員のかたに委嘱状を交付しました。任期は2年間です。市長からは「厳しい任務の遂行にあたる自衛隊に優秀な人材を確保するため、相談員の皆様には地域と自衛隊の架け橋となっていただきたい」と感謝と期待の気持ちをお伝えしました。

8月2日

株式会社ヨータイ様から市制施行80周年を記念し、貝塚市の安全・安心なまちづくり用として、50万円をご寄贈いただきました。ありがとうございます。



8月2日

毎年8月に全日本電気工業工業組合連合会様が、電気の安全に関する知識を全国で普及するため、月間運動を実施されています。この日、キャラバン隊の皆様が市役所を訪れました。



8月14日

三ツ松明土行念仏(貝塚市無形民俗指定文化財・大阪府記録選択)、地元では「チャンチャンヒキ」として親しまれている先祖供養の行事が、今年は台風の接近により、町会館で行われました。

通常は、三ツ松地区から水間共同墓地までの決められた道順を、数え年18歳の男子が太鼓とかねを打ち、念仏を唱えながら往復します。



8月10日

Daigas小さな灯運動様から、公立認定こども園4園へ乗用遊具2台ずつ計8台をご寄贈いただきました。各園で有効活用します。ありがとうございます。

貝塚の東盆踊り(大阪府無形民俗指定文化財・大阪府記録選択)が東第4児童遊園で行われました。ゆるやかなテンポとその仕草から「念仏踊り」と言われ工夫を凝らした仮装も見どころです。

今年は台風の影響により、1日だけの開催となりました。



8月18日

貝塚市子ども博士育成講座として、和歌山大学の教授と貝塚青年会議所の皆様の協力を得ながら「ドローンプログラミング講座(全9回)」を開催しています。

4回目のこの日は、市立ドローン・クリケットフィールドで子どもたちが実際にドローンを操縦し、みんなで楽しく学んでいました。



問合せ先

秘書課 ☎072・4333・7316

人口減少社会に立ち向かう糸口を見つきたいと考えています。



このような広域連携の取り組みを進めることで、人口減少社会に立ち向かう糸口を見つきたいと考えています。

具体的には、構成する5市町における公共施設の照明のLED化や設備の点検業務の一括発注などを行うことで費用を抑えるほか、敷地内に太陽光パネルを設置するなど利益を確保し、公共施設の維持管理を持続可能なものとすることを検討します。また、民間事業者のノウハウを活用した官民連携も組み合わせ、公共施設マネジメントの構築を進めてまいります。

5市町の広域連携による公共施設の維持管理に向けた協定締結式を行いました。締結式には、来賓として国土交通省や大阪府の担当幹部のかたに参加いただき、ともに、報道機関10社にも取材いただきました。この協定は、人口減少・少子高齢化に伴う財源不足、公共施設の老朽化並びに、住民の皆様へのニーズ変化など様々な課題に対応しながら、将来にわたり必要な公共施設サービスを提供していくため、構成する5市町の公共施設における新たな管理方法の調査を行うものです。なお、国土交通省の「先導的官民連携支援事業」に採択され、補助金1361万円が、貝塚市に交付されます。(補助率100%、地方負担なし)

8月21日(月)、私をはじめ、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町の5市町の首長が、貝塚市役所に集まり、「泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町及び貝塚市における広域連携と官民連携を組み合わせ、公共施設マネジメントスキーム構築調査に関する協定書」の締結式を行いました。

締結式には、来賓として国土交通省や大阪府の担当幹部のかたに参加いただき、ともに、報道機関10社にも取材いただきました。この協定は、人口減少・少子高齢化に伴う財源不足、公共施設の老朽化並びに、住民の皆様へのニーズ変化など様々な課題に対応しながら、将来にわたり必要な公共施設サービスを提供していくため、構成する5市町の公共施設における新たな管理方法の調査を行うものです。なお、国土交通省の「先導的官民連携支援事業」に採択され、補助金1361万円が、貝塚市に交付されます。(補助率100%、地方負担なし)



5市町の広域連携による公共施設の維持管理に向けた協定締結式



市長行動録

